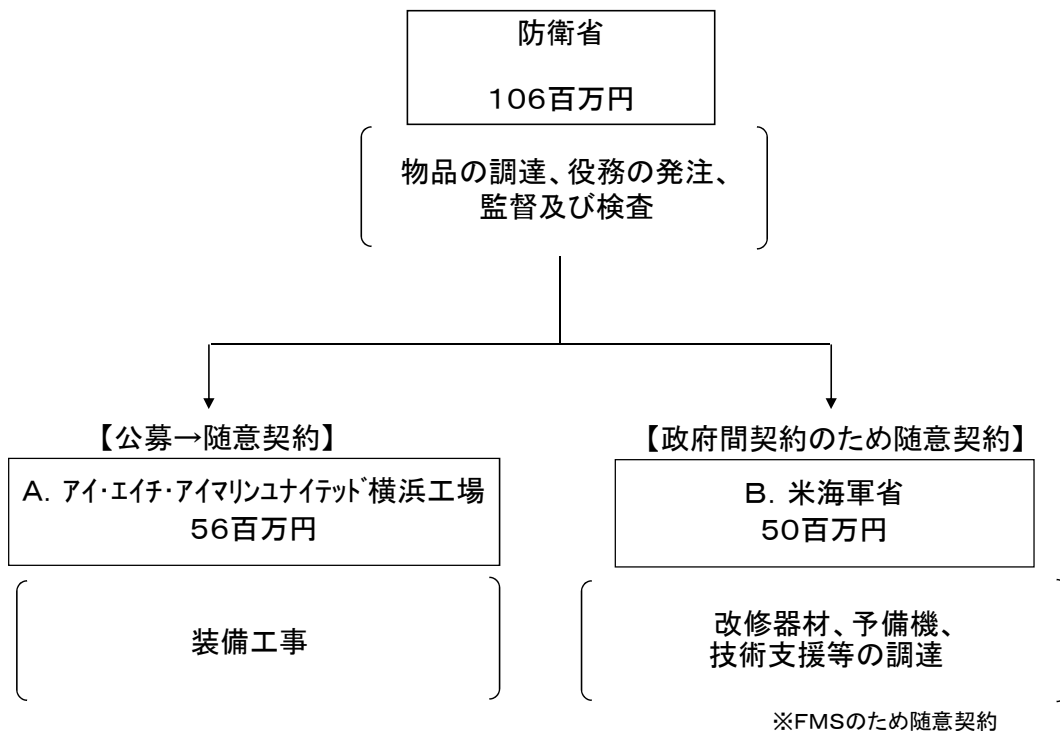


平成25年行政事業レビューシート (防衛省)

事業名	むらさめ型護衛艦等の短SAMシステムの機能向上		担当部局庁	経理装備局、防衛政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成16年度 事業終了：平成24年度		担当課室	システム装備課、艦船武器課、防衛計画課		システム装備課長 由良 英雄 艦船武器課長 中野 裕文 防衛計画課長 中嶋 浩一郎		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5-1 装備品等の取得改革等 (装備品等の整備)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成23年度以降に係る防衛計画の大綱 (平成22年12月17日 安全保障会議決定・閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	シースキミング性能※の向上が著しい対艦ミサイル(ASM)に対する阻止効果を得る必要があること及び現有の短距離艦対空ミサイル(短SAM)のRIM-7Mが価格高騰のため継続調達が困難であることから、「むらさめ」型の護衛艦を改修し、安価かつ高性能な新開発の短SAMであるESSM(Evolved Sea Sparrow Missile)を導入する。 ※海面上を低高度で飛行できる性能							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ESSMの導入は、護衛艦9隻(既成立分8隻)を対象としているが、定期修理時に改修を行う必要があることを考慮し、24年度は、最終艦「むらさめ」に対して改修を実施した。 ESSMは、RIM-7Mと比較して、運動性能、目標追尾能力等が一段と向上しており、特に、現有ミサイルに比して超低空・超高速ミサイルに対する阻止効果が大幅に改善されている。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	81	418	106	-	-	
		繰越し等	0	0	0	-	-	
		計	81	418	115	-	-	
	執行額	81	418	106	-	-		
	執行率(%)	99.9	100	92	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (24年度)	
	対象艦艇9隻に対し、ESSM発射機能を付加することにより、対空能力の向上を図る。		成果実績	隻	1	0	1	9
			達成度	%	89	-	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	24年度は、「むらさめ」にESSM発射機能を付加し、「むらさめ」型9隻全ての改修を完了した。		活動実績 (当初見込み)	隻	1 (1)	0 (-)	1 (1)	
単位当たりコスト	824,530(千円/艦)		算出根拠	24年度装備艦(むらさめ)実績 改造用器材調達費768,530(千円)+装備費56,000(千円)				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
		0	0	本事業は、平成24年度で終了しているため。				
	計	0	0					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	該当事業は、自衛隊固有の短SAMシステムの機能向上を図るものであり、部隊の戦力発揮、任務遂行に必要不可欠であり、国が担うべきものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	随意契約ではあるが、整備内容等を確認し、適切な支出であることを把握した。調達に際しては公募により入札参加業者を多く募り競争性を確保しているが、応募者1社のため随意契約となっている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	部隊要望、損耗状況等を勘案し、優先順位に基づき整備しているとともに、整備されたものは有効に活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	1. 必要性 性能の向上が著しい対艦ミサイル(ASM)に対する阻止効果を得る必要があること及び現有の短距離艦対空ミサイル(短SAM)のRIM-7Mが価格高騰のため継続調達が困難であることから、「むらさめ」型の護衛艦を改修し、安価かつ高性能な新開発の短SAMであるESSM(Evolved Sea Sparrow Missile)を導入する必要がある。					
	2. 効率性 本件は、当該改修に必要な器材を米国から調達するものであり、米国との入念な調整により必要な器材を精査することによって、効率的に取得されている。					
	3. 有効性 ESSM発射機能を付加する機能向上を行うことにより、比較的安価かつ高性能な短SAMであるESSMを発射することができる点で有効である。					
	4. 総合評価 本事業は機能向上を行うことにより、ESSMの発射が可能となるものであり、護衛艦の対空戦力を維持するために必要である。					
外部有識者の所見						
<ul style="list-style-type: none"> ・応札業者が限定されるのはやむを得ないことは理解するが、なぜ限定されるのかを、レビューシートに記載した方がよいのではないか。これらを踏まえ、可能な限り経費節減を行なう必要がある。 ・落札率が100%であることについて、手続面を説明しないと対外的に不信を持たれるおそれがある。また、FMSが米国政府相手の取引であることの特長性の説明がなされていない。簡単で良いので説明する必要がある。 						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業については平成24年度にて終了であるが、本事業で得た効率化等のノウハウや、外部有識者の所見を踏まえた改善点については、今後、類似の事業に適切に反映されたい。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	26年度概算要求では、類似事業として「たかなみ」型の短SAMシステムの向上を計画している。「むらさめ」型と「たかなみ」型では、ESSMの発射装置が異なるため、改修に必要な器材調達はFMSではなく一般輸入となるが、事前調整により改修に必要最低限な器材を選定し、当該器材を集中調達することにより、調達価格の低減に留意している。また、「たかなみ」型の改修でも、装備工事は専門技能や施設を有する造船所で実施する予定であるが、改修の対象艦(5艦)で共通するシステム設計を重複させないといった方策を検討し、装備工事の経費削減に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	編装-0015	平成23年	040	平成24年	043

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.アイ・エイ・アイマリユナイト横浜工場			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
武器修理費	装備工事	56			
計		56	計		0
B.米海軍省			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
編成装備品費	改修用器材	} 50			
	予備品				
	技術支援				
	※契約相手方との内容により、使途、金額の区分けは困難				
計		50	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アイ・エイチ・アイマリンユナイテッド横浜工場	装備工事	56	公募→随契	100.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	米海軍省	改修用器材、予備品、技術支援	50	随意契約	100.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					